

## 府Webサイトのリニューアル方針案

増加するスマホユーザーに対応し、見やすく、探しやすいウェブサイトへ改修していく

《府トップページのスマホでのアクセス割合》  
19%(R元年) → 38%(R2年)

### 現行府WEBサイトの課題

H23年にリニューアル。  
それ以来、トップページは3列ポータル型。

#### 《トップページ》

△ パソコンモニターでの閲覧に適した、一覧性を重視したレイアウトであるが、情報量が多く、探しづらい。

#### 《所属ページ》

△ スマホでは文字サイズが自動調整されず大きく表示されないため、読みにくく、リンクボタンがタッチしにくい

現在は新型コロナウイルス対策のため、「緊急情報トップページ」を作成し、上記課題に一部対応済み。

### 改善の方向性

- わかりやすく、タッチしやすいメニューの導入
- 探しやすいレイアウトの導入
- 見やすく、操作しやすいデザインの導入

#### 《トップページ》

- ◎ 画像やアイコンを効果的に使い、正方形のパネルを用いる
- ◎ 情報を厳選する  
パネル厳選型 (2列/1列ポータル型)

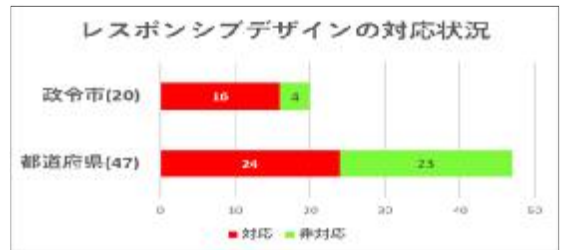
#### 《所属ページ》

- ◎ スマホ画面に対応し、自動的に画像やパネル等のレイアウト、文字サイズを調整する「レスポンスデザイン」を導入する



(★) パネル厳選型、2列/1列ポータル型の割合が増加傾向。トップページでは情報を厳選する傾向あり。

- パネル厳選型 東京都 (H28年導入)  
岡山県 (H29年導入)  
大阪市 (H29年導入) 等
- 2列/1列ポータル型 長野県 (H30年導入)  
神戸市 (R元年導入) 等



### ○今後の対応案

案	概要	開発費	ランニング費 (R02~R06末まで)	開発期間	メリット	デメリット
案1	現行Webサイトのトップページのみ改修	~900万円	2.2億円	3か月	・開発期間が短いため、早期に対応可能	・スマホでの所属ページの見づらさが解消できない
案2	現行Webサイトのトップページ改修 + 所属ページ改修	~2,500万円 (900万+1,600万)	(同上)	10か月	・所属ページも含めてスマホで見やすくなる	・約2,500万円をかけて改修を行ってもサーバ機器の更新タイミング (R6年) の開発費削減につながらず、新Webサイト全面的再構築費 (約7,000万) が必要。
案3	新Webサイトへの全面的再構築	~7,000万円	2.8億円	15か月	・システムを刷新するため、抜本的なデザイン提案を得られる ・各所属の特色を出したデザインページを作ることができる (所属で用意したAIチャットボットを直接ページに組み込める、など)	・インターネット申請システムと共同利用しているため、現行サーバリースはR6まで解約できない。 (R4~R6の現行Webサーバリース料・管理委託料が必要 3年間合計7,560万円)

詳細別紙

※具体的に 改修or再構築 を行うにあたっては、スマートシティ戦略において今後検討を進める行政DXの議論と並行して進めていくことを想定